

洋上アルプス

屋久島生態系モニタリング

国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高 800m 地点

600～800mは平均傾斜35°の急斜面である。ヤクタネゴヨウは標高750m付近が分布域の上限とされているが、760m付近に巨木を最後に見られなくなった。

プロットの下の凸部にスギの伐根があり、藩政時代にここまで伐採が及んでいたことと、この区域がスギの分布帯であることが分かる。

プロット内出現種

胸高直径1cm以上	— 18種
林床木本	— 15種
林床草本	— 10種

○優占種：イスノキーサクラツツジ群落

イスノキが優占。サクラツツジも大径木が多く亞高木を優先胸高直径31.5cmのものもあった。小径木ではヒサカキ・タイミンタチバナが多い。

○標徴種：イスノキ

標高400m付近から出現し、標高600m付近で減少したが、この付近で増える傾向にあり大径木が見られる。

○苔類

雲霧帯となるのでこれまでより多いが、島の他の地域の雲霧帯と比較すると雨量が少ないので種数も少ない。シノブイトゴケ、チャボシノブゴケ、ヤマトムチゴケ、コスギバゴケ、コホウオウゴケを確認。

この事業について、平成成一〇年三月試験施工して、その結果を踏まえ一一年度及び一二年度に事業実施しています。また、平成一二年一二月には樹木医による現地調査と意見交換

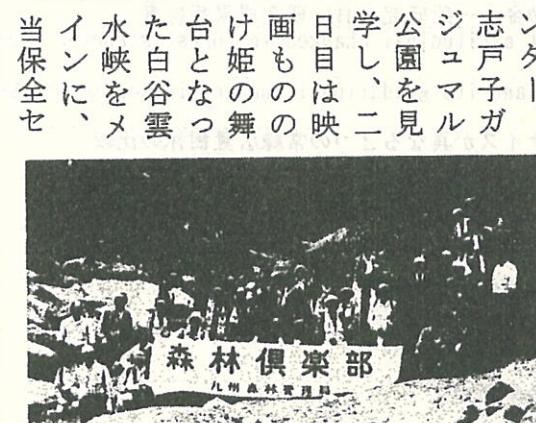
多様な動植物相を有し、世界自然遺産登録地である屋久島において、自然と親しみ、ふれあうことにより森林に対する理解や認識を深めることを目的として、十月九日から十日に森林俱楽部が屋久島を訪れました。

参加者は、九州はもとより、遠くは北海道や東北など全国各地から集まつた老若男女総勢三九名です。初日は屋久島到着後、屋久島環境文化村セ

屋久島を訪れ、白谷雲水峡、小杉谷、ヤクスギランドなどを散策して屋久島の自然や歴史にふれるとともに、交流を深めました。

森林俱楽部

～屋久島ものの森を訪ねて～



ヤクスギランドで 森林教室

十月九日午後、屋久町教育委員会の要請により、当センター及び森林管理署職員が講師となつて、ヤクスギランド

につきました。時折小雨のぱらつく天候でしたが、参加者は巨大なヤクスギ土埋木や苔むした林内など屋久島特有の

植物の島久屋



クサギは屋久島では確認されていない。屋久島で、クサギと呼ばれているものはアマクサギで、葉には毛がなく光沢がある。夏には白かった花弁のように見え、秋になると赤色になり、がくの赤と果実の黒の対比が美しい。

（自然休養林）で「屋久町森林教室」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、屋久町内の小学五年生六八名が五班に分かれそれぞれの班毎に五〇分コースを、植物等を観察しながら散策しました。

午前中の屋久杉自然館の学習を受けていたこと、参加者のほとんどが家族等とヤクスギランドを訪れたことがあること等から、ひととおりのユースは知つていましたが、ヤクスギや植物の説明を受けて、あらためて感銘を受けたようでした。

細文杉の樹勢及び植生回復状況

会を実施しました。意見交換会での意見を踏まえ、昨年度も腐葉土の充填等を施したところですが、今回は、同時にご指摘頂いた事業の経過観察を、一〇月三一日に、樹木医及び植物の専門家合わせて五名により現地にて実施しました。今後、土壤を持ち帰り分析調査等を行うこととしています。

この結果については、調査に参加していただいた方々の意見を集約し、今年度末までにモニタリング報告書と

お知らせ

花之江河土砂
流入防止工事
を行います

工事期間中の登
山道では通常どおり登
行できます。
通行にはご注意下さい。

調査報告書リスト (4-2)

平成7年当センター開所以来の屋久島森林生態系保護林内への調査・研究のため入林された方からの調査報告を資料として整備し、閲覧できるようにしています。
13年度末までに報告された分について4回にわたり掲載します。

No.	報 告 書 名	報告者氏名(機関)
39 -2	屋久島原生自然環境保全地域調査報告書 ・屋久島原生自然環境保全地域の山地針葉樹林における林木群集の構造 ・屋久島低地におけるリーフサイズが異なる2つの常緑広葉樹林の比較 ・屋久島亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林域の放棄地における二次遷移 ・屋久島における維管束着生植物の垂直分布と環境要因に関する予報 ・原生的照葉樹林群集の果実のフェノロジー ・屋久島の照葉樹林帯とヤクズギ林帯を構成する植物に放花するハナバチ相 ・屋久島原生自然環境保全地域の土壤と針葉樹3種の分布 ・屋久島のスギ林内理没土壤の花粉分析と鬼界カルデラの火碎流噴火の影響	環境庁自然保護局 財団法人日本自然保護協会 明石信廣、相場慎一郎、甲山隆司 大沢雅彦、武生雅明、大塚俊之 大塚俊之、大沢雅彦、武生雅明 江草清和、大沢雅彦 野間直彦 湯本貴和 小野昌輝、大沢雅彦 木村勝彦、鈴木茂
40	北限における常緑広葉樹林の植生・環境分化に関する研究 平成5~6年度科学研究費補助金 一般研究(B) 研究成果報告書 ・Latitudinal comparison of altitudinal changes in forest structure, leaf type, and species richness in humid monsoon Asia ・The montane cloud forest and its gradational changes in southeast Asia ・屋久島低地におけるリーフサイズが異なる2つの常緑広葉樹林の比較 ・屋久島の常緑広葉樹林における地形的群落の構造 ・屋久島低地におけるリーフサイズが異なる常緑広葉樹の葉の寿命 ・リーフサイズが異なる常緑広葉樹の葉の寿命 ・常緑広葉樹の開葉と落葉に着目した季節的パターン ・常緑広葉樹の葉の水分特性の季節変化 ・屋久島亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林域の放棄地における二次遷移 ・屋久島低地部の壊乱立地に出現する先駆性樹種の特性	研究代表者 大沢雅彦 大沢雅彦 大沢雅彦 大沢雅彦、武生雅明、大塚俊之 朱宮丈晴、大沢雅彦 新田郁子、大沢雅彦、大塚俊之 三好弘子 鈴木由香理 新田郁子 鈴木由香理 大塚俊之、大沢雅彦、武生雅明 三好弘子、大塚俊之、大沢雅彦 新田郁子
41 -1	屋久島における気候変動と森林系のレスポンス 平成7年度科学研究費補助金 総合研究(A) 研究成果報告書 ・花崗岩節理系と表層地形動態 ・地形に対応した常緑広葉樹林の構造と土壤特性のパターン ・屋久島における台風の気候学的解析 ・The effects of a typhoon on Japanese warm temperate rain forests ・林冠アクセスシステムの建設 ・林冠アクセスシステムを利用した樹冠の形成・維持機構の研究 -その事始め-	研究代表者 大沢雅彦 (千葉大学理学部教授) 山本啓司 朱宮丈晴、大沢雅彦 松本淳、岡谷隆基、江口卓 Bellingham, P. J., 甲山 隆司、相場慎一郎 寺島一郎 寺島一郎、木村恭子
41 -2	屋久島における気候変動と森林系のレスポンス 平成7年度科学研究費補助金 総合研究(A) 研究成果報告書 ・照葉樹林構成種8種のシートの形態の変異とその機能的意義 -伸長志向のシートと葉面展開志向のシート- ・屋久島の常緑広葉樹におけるリーフサイズと葉の寿命の変化 ・森林群集の繁殖過程と更新動態 一屋久島の照葉樹林の鳥散布樹種の果実数の年変動と同調性- ・屋久島低地部の常緑広葉樹林地域における二次遷移 ・屋久島における推移行列モデルの応用	研究代表者 大沢雅彦 (千葉大学理学部教授) 竹中明夫 大沢雅彦、新田郁子 新山馨、野間直彦、小南陽亮 佐藤保、齊藤哲 大塚俊之、三好弘子、大沢雅彦 高田壯則
42	葉の特性に着目した常緑広葉樹の機能型と群落分化 平成7~8年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)研究成果報告書 ・常緑広葉樹の芽の類型と生態学的属性 (Bud structure and ecological traits of evergreen broad-leaved trees at their northern limit in southern and central Japan.) ・Leaf dynamics and shoot phenology of eleven warm-temperate evergreen broad-leaved trees near the northern limit in central Japan. ・Patterning of subtropical/warm-temperate evergreen broad-leaved forests in east Asian mountains with special reference to shoot phenology. ・Distribution ranges and population structure of evergreen broad-leaved trees along altitudinal gradient on Mount Emei, Sichuan, China. ・地形に対応した常緑広葉樹林の階層構造とその形成過程 (Structural and developmental process of stratification of evergreen broad-leaved forest along to topographical gradients in Yakushima, southern Japan.) ・亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林地域の放棄耕作地における初期二次遷移の地理的比較 (Latitudinal comparison of old-field successional pattern in subtropical/warm-temperate evergreen broad-leaved forest region.)	研究代表者 大沢雅彦 (千葉大学理学部教授) 大沢雅彦、新田郁子 新田郁子、大沢雅彦 大沢雅彦、新田郁子 Cindy Q. Tang & 大沢雅彦 朱宮丈晴、大沢雅彦 大塚俊之
43	ヤクシマザル垂直分布調査報告(1993~1997年)	ヤクザル調査隊 代表者 好廣真一
44	無葉緑植物タカツルランの棲息場所と棲息状況 (植物分類 地理 45(2): 131-138 (1994))	馬田英隆、金谷整一、森健
45	屋久島破沙岳周辺におけるヤクタネゴヨウの分布様式 (日本林学会誌 別冊 79巻 3号: 160-163 (1997))	金谷整一、玉泉幸一郎、伊藤哲 齋藤明